

生涯
学習課

全国の舞台へ挑戦する選手を激励

全国大会等出場者壮行式（夏季）



壮行式に参加した皆さん

7月21日、市役所本庁舎1階市民ホールで、全国大会などへ出場する人を対象に、壮行式を開催しました。このたびの壮行式は、個人34人が対象となりました。

壮行式では、八谷恭介市長と桂藤和夫市議会議長が激励の挨拶を行い、牧原明人教育長から出場者一人一人に祝金と花束が贈呈されました。

また、出場者を代表して、令和8年度全国中学校体育大会 第53回全日本中学校陸上競技選手権大会に出場する小野颯佑さんが力強い決意表明を述べ、大会での活躍を誓いました。

■出場者（敬称略）

第50回全国高等学校総合文化祭
あきた総文2026

（7月28日～30日／秋田県秋田市）

写真部門

小田 歩美（庄原格致高3年）
香川 凜（庄原格致高2年）

全国高等学校ダンスドリル選手権大会 Miss Dance Drill Team Japan Competition 2026

（7月24日～26日／東京都渋谷区）

HIPHOP 男女混成部門 Small 編成・HIPHOP 女子部門 Small 編成

新本 聖来（創志学園高3年）

全国高等学校総合体育大会
レスリング競技大会

三笠宮賜牌 第73回全国高等学校レスリング選手権大会

（7月23日～26日／和歌山県東牟婁郡

那智勝浦町）

男子個人対抗戦65kg級

内海 鼓鉄（三次高2年）

全国高等学校総合体育大会
陸上競技大会

秩父宮賜杯 第79回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

（7月30日～8月5日／滋賀県彦根市）

男子走高跳

黒永 拓海（沼田高3年）

男子やり投げ

杠 航太郎（弓削商船高3年）

女子4×100mリレー

児玉 結香（沼田高2年）

女子4×400mリレー

松尾怜衣紗（広島皆実高2年）

全国高等学校総合体育大会
空手道競技大会

第53回全国高等学校空手道選手権大会

（8月6日～9日／兵庫県姫路市）

女子団体組手

矢吹 緋音（広島国際学院高2年）

第53回全国高等学校定時制通信制バレーボール大会

（8月4日～8日／神奈川県平塚市）
谷本 健（広島みらい創生高3年）

第64回全国高等学校
ライフル射撃競技選手権大会

（8月1日～4日／安芸太田町）

ビームライフル立射競技（女子）

栗本 らら（西城紫水高2年）

第4回全日本高校生スポーツ
射撃競技選手権大会

（8月1日～4日／安芸太田町）

ビームピストル立射競技（女子）

大森衣里子（西城紫水高1年）

第26回全日本少年少女空手道
選手権大会

（8月13日～15日／東京都調布市）

小学6年生女子組手

祐宗 さち（板橋小6年）

小学4年生男子組手

矢吹 菜月（板橋小4年）

小学3年生男子組手

香川 駿夏（庄原小3年）

小学1年生女子組手

三上 蓮夏（板橋小1年）

矢吹 彩羽（板橋小1年）

日本女子学生ゴルフ選手権競技

（8月26日～28日／岐阜県揖斐郡揖斐川町）

山岡 瑠生（関西福祉大2年）

日本スポーツマスターズ
2026 石川大会

（9月12日／石川県金沢市）

空手道競技 男子組手1部

加藤 貢一

第80回国民スポーツ大会

（8月29日～30日／青森県十和田市）

ゲートボール（公開競技）

倉上 義彦

中原 巧

全日本少年少女武道（銃剣道）
錬成大会

（8月5日／東京都千代田区）

団体試合錬成（中学生）

個人試合錬成（中学3年生）

細川 棕汰（東城中小3年）

田邊 宇海（東城中小3年）

団体試合錬成（中学生）

個人試合錬成（中学1年生）

宇恵 桔平（東城中1年）

田邊 空宙（東城中1年）

木下 健（東城中1年）

長谷 琉星（東城中1年）

社会福祉課 平和への願いを未来へつなぐ
令和8年度戦没者追悼式並びに平和祈念式典

戦没者に哀悼の意を表するとともに、恒久平和を祈念するため、令和8年度庄原市戦没者追悼式並びに平和祈念式典を8月19日、みどりしんきんホールで開催し、市民や遺族など352人が参列しました。

式典では、八谷市長が「先の大戦の惨禍を直接知る世代が少なくなっている現在、悲劇の記憶や教訓と先人たちから託された平和への願いを、決して風化させることなく伝承するとともに、平和の尊さを訴え続けることは、今を生きる私たちの使命。緑ゆたかな自然と温かい人の絆が息づくこの庄原の地で、誰もが笑顔で、安心して暮らすことができる平和な社会を築き、未来につないでいく」と式辞を述べました。

その後、高小学校6年生の美藤梨乃さんと政木汐織さんが「私たちは、平和への願いを世界中の人たちに届けます。誰もが笑顔で暮らせる平和な未来のために、これからも行動し続けることをここに誓います」と平和の誓いを述べました。

このほか、追悼吟詠、ジュニア合唱団やまびこによる合唱、口和本の会による朗読、庄原中学校吹奏楽部による演奏が行われました。

参列者は祭壇に献花し、2923人の戦没者の御霊を追悼するとともに、恒久平和への願いを新たにしました。



献花する参列者



式辞を述べる八谷市長

管財課 建設会社と技術者の施工能力を評価
優良建設工事施工業者の認定、優良技術者の表彰



前列左から
（株）加島建設 代表取締役 加島俊次さん、（株）大歳組 専務取締役 京本憲幸さん、八谷市長、（有）中田建設 代表取締役 中田和克さん、（株）角栄組 代表取締役 柳田修孝さん
後列左から
（株）加島建設 松田 誠さん、（株）大歳組 宮脇新悟さん、田坂伸介さん、（有）中田建設 中田凌輔さん、（株）角栄組 桑原常之さん

本年度の庄原市優良建設工事施工業者の認定式ならびに優良技術者の表彰式を7月23日、市役所で開催しました。

この制度は、公共工事の品質をより良くするため、建設会社の技術力向上を目的とし、契約額500万円以上の建設工事について、品質や安全対策などを評価する評定点が82点以上（満点100点）の施工業者および技術者を認定・表彰するものです。

令和7年度に完成した対象工事47件のうち、認定基準を

満たした4社を「優良建設工事施工業者」として認定し、工事を担当した技術者5人を「優良技術者」として表彰しました。

認定制度を創設した平成20年度から、（株）加島建設は4度目、（株）大歳組は10度目、（有）中田建設は3度目、（株）角栄組は初めての認定となりました。

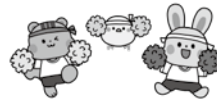
八谷市長は認定書と表彰状を手渡し「今後も本市建設業の担い手として、一層活躍いただきたい」と述べ、その栄誉を称えました。

生涯学習課 全国の舞台へ挑戦する選手を激励
全国大会等出場者壮行式（夏季）

団体試合錬成（小学5・6年生）
個人試合錬成（小学5・6年生男子）
長谷 希琉（小奴可小5年）
団体試合錬成（小学5・6年生）
個人試合錬成（小学5・6年生女子）
宇恵 心春（小奴可小5年）
個人試合錬成（小学4年生）
木下 歩（小奴可小4年）

全国中学校体育大会 第53回
全日本中学校陸上競技選手権大会
（8月20日～23日／山口県山口市）
男子3000m
小野 颯佑（東城中3年）
第108回全国高等学校野球選手権大会
（8月5日～22日／兵庫県西宮市）
宮野 快生（鳥取城北高3年）
松永 悠詩（福山高3年）

全国中学校体育大会 第57回
全国中学校柔道大会
（8月18日～21日／岡山県岡山市）
女子団体・女子個人57kg級
吉田 希柚（USA小倉塾）
マルちゃん杯
全日本少年柔道大会
（9月20日～東京都足立区）
中学生女子の部
吉田 希柚（USA小倉塾）



生涯学習課 風を切り、高原を駆ける
第27回ひろしまクロスカントリー大会



ゴールを目指して駆け抜ける選手たち

8月22日、道後山高原クロカンパークで、「第27回ひろしまクロスカントリー大会」を開催し、県内外から総勢1003人の選手が出場しました。

緑豊かな道後山高原の自然に囲まれた特設コースを舞台に、2歳から89歳まで幅広い年代の選手が参加。それぞれの部門で日ごろの練習の成果を発揮し、仲間や家族からの声援を受けながらゴールを目指して力強く駆け抜けました。

参加者からは「自然の中で気持ち良く走ることができた」「来年も挑戦したい」などの声も聞かれ、道後山高原ならではの魅力を感じられる大会となりました。

生涯学習課 ラジオ体操で爽やかな一日のスタート
2026年度夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会

7月31日、上野総合公園陸上競技場で、「2026年度夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を開催し、市内外の体操会」を開催し、市内外から630人が参加しました。

毎年7月から8月にかけて全国各地で開催されるこの体操会。今年は全国37会場で実施される体操会の一つとして庄原市で開催され、当日は早朝から子どもから高齢者まで幅広い世代が集まりました。

参加者は、ラジオ体操指導者の動きに合わせて、ラジオ体操第一とラジオ体操第二を元気に実施。会場には爽やかな朝の空気の中、笑顔と活気があふれ、体を動かす楽しさを感じながら、健康づくりに取り組みました。また、普段は一緒に体操する機会の少ない世代も、同じ会場で体を動かし、心地よい汗を流しました。

世代を超えて一緒に体操を楽しむことで、参加者同士の交流も深まり、健康づくりへの意識を高めるきっかけとなる一日となりました。早朝の爽やかな空気の中、みんなで体を動かすことで、気持ちの良い一日のスタートを切りました。



朝日を浴びて心地よい汗を流す参加者



みんなで元気にラジオ体操！

教育指導課
読書の楽しさを伝える「子供司書」を目指して
「子供司書」養成講座



「子供司書」を目指して、熱心に学ぶ児童

本市では毎年、市内の小学5・6年生の希望者を対象に「子供司書」養成講座を行っています。「子供司書」は、学校や地域の図書館で読書の楽しさを伝える、子どもの読書活動推進リーダーです。本年は市内6校から19人が受講し、7月18日に第1回目の「全体研修」を行いました。受講者は、日本十進分類法の学習や絵本の読み語り、ポップ作りなどに熱心に取り組みました。参加した東小学校5年の藤本千紗さんは、「読み語りをする時は、体に絵本を近づけると見やすいと教えてもらった。今日教えてもらったことを、学校で読み語りをするのにも生かしたい」と話し、今後の活動への意欲を見せました。養成講座は12月まで続き、図書館業務の体験や各学校での読書活動に取り組みます。活動が認められると、1月に広島県教育委員会から「子供司書」として認証されます。

地域共創課
更生への一步を、地域の支えて
第76回「社会を明るくする運動」庄原市推進大会



自身の経験を基に講演する田岡さん

7月23日、庄原市ふれあいセンターで「第76回『社会を明るくする運動』庄原市推進大会」を開催しました。これは、犯罪や非行の防止と、犯罪や非行をした人たちの更生への理解を深め、安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動です。開会式では、古賀正明広島保護観察所長の代理として、松林初恵次長から大会委員長の八谷市長へ、内閣総理大臣からの推進メッセージが伝達されました。その後「受刑者雇って大丈夫??」と題し、柳豊生取締役の田岡晃二さんが講演。自身の服役経験や家族との関わりを踏まえ、受刑者の雇用に伴う葛藤や更生への道のりについて話し、更生の可能性と支援の大切さを伝えました。

総務課
被爆者の思いを継承
平和啓発セミナー

市は、原爆や戦争の記憶を風化させず、平和の尊さや戦争の悲惨さを後世に伝えていくことを目的に、毎年、平和啓発セミナーを開催しています。本年は8月3日に庄原市ふれあいセンターで、5日に西城自治振興センターで「被爆体験証言の伝承講話」を開催しました。講演では、被爆体験伝承者の藤井文子さん（庄原会場）、松原一彦さん（西城会場）が、写真や絵、当時の広島市の地図などを使い、被爆者から受け継いだ原爆の悲惨な状況や、平和への思いについて語りました。参加者からは「学校の友達や知り合いに、今日の話をしてほしい」と、今日の話を少しでもしていきたいという声が多く聞かれました。市は今後も、戦争や原爆に関する記憶と平和への思いを次世代へ継承するため、平和啓発を推進していきます。



講演を行う松原さん（西城会場）



講演を聞く参加者（庄原会場）

政策企画課
空き家の「これから」を専門家と考える
空き家対策講演会・相談会

8月12日に庄原自治振興センターで「空き家対策講演会」および「空き家の無料相談会」を開催しました。講演会では、講師に一般社団法人あきやねつと庄原代表理事で司法書士の飯田一生さんを迎え、県内から27人が参加しました。「相続登記義務化」や「空き家放置のリスク」をテーマに、空き家問題の解決例について約1時間講演いただき、参加者は時折メモを取りながら真剣に耳を傾けていました。講演会終了後の参加者からは「空き家問題について詳しく知れてよかった。また参加したい」などの声が寄せられました。その後、事前に申し込みをした6組を対象に「空き家の無料相談会」を実施しました。相談者それぞれの事情や希望に応じて、専門家が相続手続きや空き家の管理・活用について具体的にアドバイスしました。参加者からは「二人で悩んでいたが、相談したことで、今やるべきことが明確になった」といった声もあり、問題解決に向けた具体的な方向性を見いだす機会となりました。市では、一般社団法人あきやねつと庄原と連携し、空き家対策に取り組んでいます。空き家問題は、相続や登記、管理など、さまざまな課題が絡む、複雑な問題です。空き家について困っている人



熱心に講演を聞く参加者



事例を交えながら講演する飯田さん

は、一人で悩まず、ぜひ一度ご相談ください。今回の「空き家相談会」は11月11日(水)に庄原自治振興センターで開催予定です。詳しくは市ホームページでお知らせします。皆様のご参加をお待ちしています。

総務課
来庁者と職員の安全を守る
不審者対応訓練

7月22日、市役所本庁舎で「不審者対応訓練」を実施し、市職員47人が参加しました。本訓練は、不当要求行為などへの対策の一環として、職員の危機対応能力の向上と庁舎内の安全確保を目的に、庄原警察署の協力を得て実施しました。当日は、庄原警察署の署員から、不審者への対応方法やさすまたの基本的な取り扱いについて講義を受けた後、刃物を持った不審者が突然暴れる事態を想定し、通報から避難誘導、防犯カメラの実践的な訓練を行い、対応手順を全員で確認しました。参加者は実践訓練を通じて、冷静に判断することや職員間で連携することの重要性を再認識するとともに、自身の安全を確保しながら来庁者の安全を守るための対応力を高めました。訓練で明らかになった課題は今後の改善に生かし、引き続き来庁者と職員の安全・安心を最優先に、安全な庁舎環境の維持・強化に取り組めます。



さすまたを使った防御を実践



不審者への対応方法を学ぶ職員